

積水樹脂の暑さ対策技術が、人工芝メーカーとして初めて環境省「環境技術実証事業(ETV)」において実証されました。(Viuシステム、ドリームターフ PT-RS+)

2020年9月8日  
積水樹脂株式会社

積水樹脂株式会社(本社:大阪市北区 代表取締役会長 兼 CEO:福井彌一郎)の人工芝の暑さ対策技術が、環境省の「環境技術実証事業(ETV)」において、人工芝メーカーとしては初となる環境技術実証モデル事業として採択され、その効果が実証されました。今回の結果を受け、当社人工芝製品を通じて、スポーツフィールドにおける熱中症対策をサポートするご提案を、さらに進めてまいります。

## ■実証技術① : Viuシステム

実証番号:160-1901

実証技術領域:気候変動対策技術領域(熱中症対策技術区分)



### < 技術の概要 >

・本技術は、フィールド表面に対し特殊樹脂製ノズルにより霧雨状の水を立体的に散布し濡らすことで表面温度を低減させ、利用者に快適なスポーツフィールドを提供することができ、ヒートアイランド対策にも貢献する技術です。

(詳細は、[当社ホームページ](#)をご参照ください)

### < 実証された効果 >

このシステムによる散水は、一般的なミストと異なり、水が直接人工芝葉の表面温度を低減します。プレーヤーは足元から体温上昇が抑えられ、周辺の温度環境を大きく改善させることが実証されました。



<http://www.env.go.jp/policy/etv/pdf/list/r02/160-1901b.pdf>

環境省 環境技術実証事業 <http://www.env.go.jp/policy/etv/system/index.html>

## ■実証技術② : ドリームターフ PT-RS+

実証番号:160-1902

実証技術領域:気候変動対策技術領域(熱中症対策技術区分)



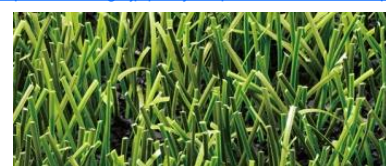
### < 技術の概要 >

・本技術は、日射反射顔料を練りこんだヤーン(及び充填材)が日射を反射することで人工芝フィールドの表面温度を低減させ、ヒートアイランド対策にも貢献する技術です。またヤーンは分子同士を立体的に網目状に配向させ複雑に絡み合わせることで、一般的な人工芝と比べ、耐久性が高くなっています。

(詳細は、[当社ホームページ](#)をご参照ください)

### < 実証された効果 >

使用中に芝葉がちぎれにくく、耐久性のある芝葉で持続性のある温度抑制効果により夏場の暑熱環境を改善し、快適なプレー環境を提供します。マイクロプラスチックの発生も抑止し環境負荷低減も図れる事が実証されました。



<http://www.env.go.jp/policy/etv/pdf/list/r02/160-1902b.pdf>

以上

「環境技術実証(ETV)事業とは」

既に市場で利用・販売されているが、環境保全効果などについて客観的評価がなされていない技術について、環境省が選定した実証機関が客観的に試験を行うなどしてその効果を実証し、環境関連技術の普及や関連産業の発展を促す事業です。

< 環境省による発表資料 > <http://www.env.go.jp/press/108100.html>

【本件に関するお問合せ先】

積水樹脂株式会社 コーポレート部

TEL 06-6365-3204 FAX 06-6365-7181